

運用報告書 (全体版)

第14期<決算日2022年5月9日>

MHAMコモディティ・インデックスファンド(ファンドラップ)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品先物）／インデックス型	
信託期間	2008年6月3日から無期限です。	
運用方針	内外のコモディティ指数連動証券に投資を行い、ブルームバーグ商品指数（ヘッジなし・円ベース）の動きにおおむね連動する投資成果を目指します。	
主要投資対象	MHAMコモディティ・インデックスファンド（ファンドラップ）	MHAMコモディティマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAMコモディティマザーファンド	内外のコモディティ指数連動証券を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象とするコモディティ指数連動証券は、国内外の取引所に上場されている証券または組入れ時にAーもしくはA3以上の格付けを得ている銘柄または同等の格付けを得ている発行体が発行する証券とし、原則として高位に組み入れます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	MHAMコモディティ・インデックスファンド（ファンドラップ）	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	MHAMコモディティマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年原則として5月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「MHAMコモディティ・インデックスファンド（ファンドラップ）」は、2022年5月9日に第14期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

MHAMコモディティ・インデックスファンド（ファンドラップ）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ商品指数 (ヘッジなし・円ベース)		コモディティ 指数連動証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率		
10期 (2018年5月8日)	円 3,916	円 0	% 5.9	4,482	% 6.3	% 99.0	百万円 750
11期 (2019年5月8日)	3,486	0	△11.0	4,077	△9.0	99.2	624
12期 (2020年5月8日)	2,692	0	△22.8	3,139	△23.0	99.6	392
13期 (2021年5月10日)	4,099	0	52.3	4,858	54.8	99.6	532
14期 (2022年5月9日)	6,879	0	67.8	8,137	67.5	99.4	460

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「コモディティ指数連動証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) ブルームバーグ商品指数（ヘッジなし・円ベース）は、基準価額への反映を考慮して前営業日の米ドルベースの値を当社が独自に円換算し、当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです（以下同じ）。

(注3) 「Bloomberg®」および「ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ商品指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません（以下同じ）。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

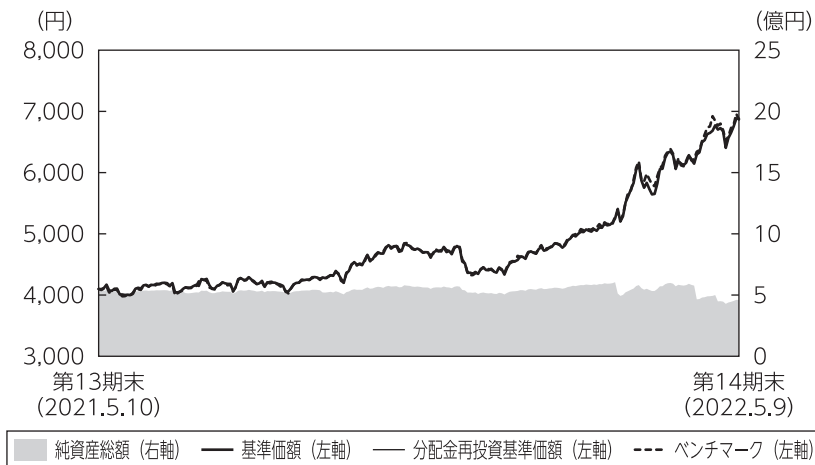
年月日	基準価額		ブルームバーグ商品指数 (ヘッジなし・円ベース)		コモディティ 指数連動証券 組入比率
	騰落率	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率	
(期首) 2021年5月10日	円 4,099	% -	4,858	% -	% 99.6
5月末	4,119	0.5	4,855	△0.1	99.8
6月末	4,167	1.7	4,911	1.1	99.3
7月末	4,292	4.7	5,087	4.7	99.6
8月末	4,244	3.5	5,037	3.7	99.6
9月末	4,497	9.7	5,312	9.3	99.8
10月末	4,753	16.0	5,650	16.3	99.3
11月末	4,519	10.2	5,353	10.2	99.3
12月末	4,623	12.8	5,492	13.1	99.4
2022年1月末	4,982	21.5	5,896	21.4	99.5
2月末	5,200	26.9	6,192	27.5	99.4
3月末	6,188	51.0	7,382	52.0	99.7
4月末	6,650	62.2	7,974	64.1	99.5
(期末) 2022年5月9日	6,879	67.8	8,137	67.5	99.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「コモディティ指数連動証券組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用経過 (2021年5月11日から2022年5月9日まで)

基準価額等の推移



第14期首： 4,099円
第14期末： 6,879円
(既払分配金0円)
騰落率： 67.8%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

MHAMコモディティマザーファンド受益証券への投資を通じて、ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価格等が概ね連動する米国上場のコモディティ指数連動証券(米ドル建て、以下コモディティ指数連動証券)に投資を行った結果、エネルギー市場が上昇したことや為替市場で円安米ドル高が進行したことなどが寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

原油市場は上昇しました。期初から2021年12月にかけては、主要産油国による協調減産の動向などを睨みながら底堅く推移しました。その後期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化などを受けて大幅上昇となりました。また、金市場も上昇しました。欧米の金融政策正常化観測などを背景に軟調に推移する局面もありましたが、ウクライナ情勢の緊迫化などが上昇要因となり、期を通じては上昇となりました。

米ドルは対円で上昇しました。米金融政策の早期引き締め観測などを背景に、2021年9月頃から円安米ドル高が進行しました。2022年3月には、F R B（米連邦準備制度理事会）は積極的に金融政策の正常化を進めるとの見方が強まる中、日銀は金融政策の現状維持を決定し、日米金融政策の方向性の違いが強く意識されたことから円安米ドル高が一段と進行しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

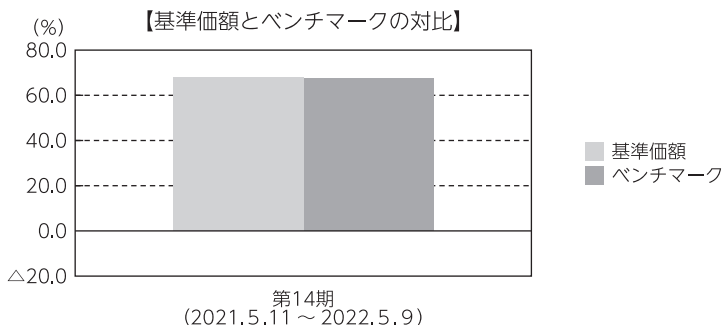
当ファンドの運用方針に従い、MHAMコモディティマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●MHAMコモディティマザーファンド

当マザーファンドの運用方針に従い、コモディティ指数連動証券の組入比率を高位に保ち、ブルームバーク商品指数（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

MHAMコモディティマザーファンド受益証券への投資を通じて、コモディティ指数連動証券に投資を行った結果、当ファンドの基準価額はベンチマークを0.3%上回りました。この差異は、コモディティ指数連動証券の価格が市場での需給要因などからベンチマークに連動しない部分があることなどが主な要因です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年5月11日 ～2022年5月9日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,797円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、MHAMコモディティマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●MHAMコモディティマザーファンド

引き続き、コモディティ指数連動証券の組入比率を高位に保ち、ブルームバーク商品指数（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	(2021年5月11日 ～2022年5月9日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	12円	0.252%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,788円です。
(投信会社)	(10)	(0.208)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.011)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.031	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.031)	
(c) その他費用	6	0.122	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.119)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	19	0.404	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

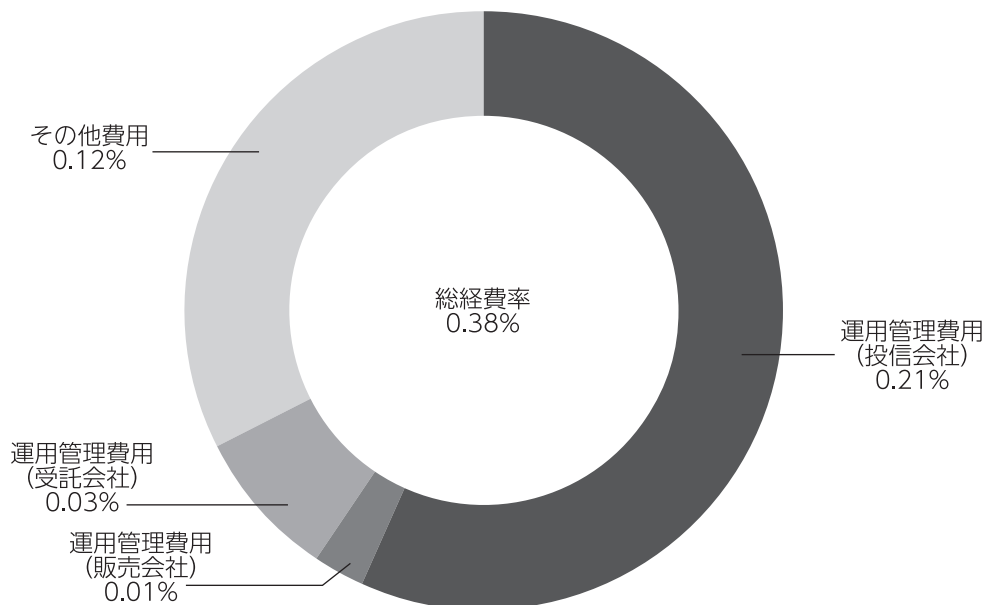
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.38%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) マザーファンドを通じて実質的に投資する上場投資信託証券の運用・管理にかかる費用は含みません。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年5月11日から2022年5月9日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
MHAMコモディティマザーファンド	千□ 47,100	千円 21,500	千□ 664,989	千円 369,412

■利害関係人との取引状況等（2021年5月11日から2022年5月9日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
MHAMコモディティマザーファンド	千□ 1,270,766	千□ 652,877	千円 460,278

■投資信託財産の構成

2022年5月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
MHAMコモディティマザーファンド	千円 460,278	% 99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	881	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	461,160	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末のMHAMコモディティマザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、458,903千円、99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年5月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=130.78円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月9日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	461,160,365円
コール・ローン等	881,490
MHAMコモディティ マザーファンド(評価額)	460,278,875
(B) 負 債	856,589
未 払 解 約 金	178,913
未 払 信 託 報 酬	673,846
そ の 他 未 払 費 用	3,830
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	460,303,776
元 本	669,163,810
次 期 繰 越 損 益 金	△208,860,034
(D) 受 益 権 総 口 数	669,163,810口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	6,879円

(注) 期首における元本額は1,299,119,681円、当期中における追加設定元本額は85,551,911円、同解約元本額は715,507,782円です。

■損益の状況

当期 自2021年5月11日 至2022年5月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△154円
受 取 利 息	90
支 払 利 息	△244
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	185,428,039
売 買 益 損	262,582,329
売 買 損 益	△77,154,290
(C) 信 託 報 酬 等	△1,364,704
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	184,063,181
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	19,344,522
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△412,267,737
(配 当 等 相 当 額)	(50,729,458)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△462,997,195)
(G) 合 計 (D+E+F)	△208,860,034
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△208,860,034
追 加 信 託 差 損 益 金	△412,267,737
(配 当 等 相 当 額)	(50,729,457)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△462,997,194)
分 配 準 備 積 立 金	203,408,092
繰 越 損 益 金	△389

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	184,063,214
(c) 収 益 調 整 金	50,729,457
(d) 分 配 準 備 積 立 金	19,344,878
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	254,137,549
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	3,797.84
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。

MHAMコモディティマザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2022年5月9日）

（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

MHAMコモディティマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年6月3日から無期限です。
運用方針	内外のコモディティ指数連動証券に投資を行い、ブルームバーグ商品指数（ヘッジなし・円ベース）の動きにおおむね連動する投資成果を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	内外のコモディティ指数連動証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ商品指数 （ヘッジなし・円ベース）		コモディティ 指数連動証券 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	（ベンチマーク）	期騰落		
	円	%		%	%	百万円
10期（2018年5月8日）	3,973	6.2	4,482	6.3	99.0	750
11期（2019年5月8日）	3,546	△10.7	4,077	△9.0	99.2	624
12期（2020年5月8日）	2,745	△22.6	3,139	△23.0	99.7	391
13期（2021年5月10日）	4,190	52.6	4,858	54.8	99.6	532
14期（2022年5月9日）	7,050	68.3	8,137	67.5	99.4	460

（注1）ブルームバーグ商品指数（ヘッジなし・円ベース）は、基準価額への反映を考慮して前営業日の米ドルベースの値を当社が独自に円換算し、当ファンドの設定日を10,000として指数化したものです（以下同じ）。

（注2）「Bloomberg®」および「ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ商品指数に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません（以下同じ）。

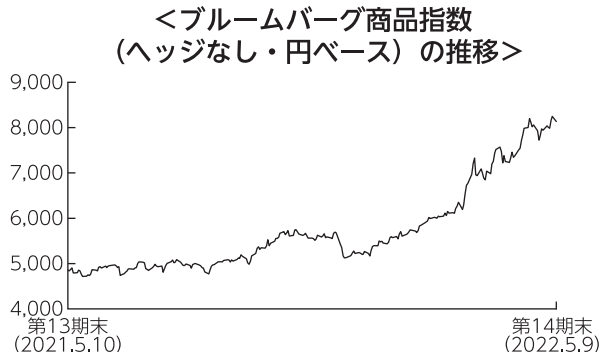
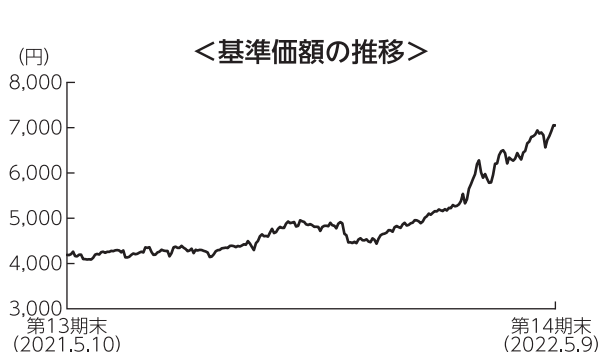
（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		コモディティ 指数連動証券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2021年 5月10日	4,190	—	4,858	—	99.6
5月末	4,211	0.5	4,855	△0.1	99.8
6月末	4,261	1.7	4,911	1.1	99.3
7月末	4,390	4.8	5,087	4.7	99.6
8月末	4,342	3.6	5,037	3.7	99.6
9月末	4,602	9.8	5,312	9.3	99.8
10月末	4,865	16.1	5,650	16.3	99.4
11月末	4,626	10.4	5,353	10.2	99.3
12月末	4,734	13.0	5,492	13.1	99.4
2022年 1月末	5,102	21.8	5,896	21.4	99.5
2月末	5,327	27.1	6,192	27.5	99.4
3月末	6,340	51.3	7,382	52.0	99.7
4月末	6,815	62.6	7,974	64.1	99.5
(期 末) 2022年 5月 9日	7,050	68.3	8,137	67.5	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

■当期の運用経過（2021年5月11日から2022年5月9日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は7,050円となり、前期末比で68.3%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価格等が概ね連動する米国上場のコモディティ指数連動証券（米ドル建て、以下コモディティ指数連動証券）に投資を行った結果、エネルギー市場が上昇したことや為替市場で円安米ドル高が進行したことなどが寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

原油市場は上昇しました。期初から2021年12月にかけては、主要産油国による協調減産の動向などを睨みながら底堅く推移しました。その後期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化などを受けて大幅上昇となりました。また、金市場も上昇しました。欧米の金融政策正常化観測などを背景に軟調に推移する局面もありましたが、ウクライナ情勢の緊迫化などが上昇要因となり、期を通じては上昇となりました。

米ドルは対円で上昇しました。米金融政策の早期引き締め観測などを背景に、2021年9月頃から円安米ドル高が進行しました。2022年3月には、F R B（米連邦準備制度理事会）は積極的に金融政策の正常化を進めるとの見方が強まる中、日銀は金融政策の現状維持を決定し、日米金融政策の方向性の違いが強く意識されたことから円安米ドル高が一段と進行しました。

ポートフォリオについて

当ファンドの運用方針に従い、コモディティ指数連動証券の組入比率を高位に保ち、ブルームバーグ商品指数（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの基準価額はベンチマークを0.8%上回りました。この差異は、コモディティ指数連動証券の価格が市場での需給要因などからベンチマークに連動しない部分があることなどが主な要因です。

今後の運用方針

今後の運用につきましても、コモディティ指数連動証券の組入比率を高位に保ち、ブルームバーク商品指数（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	2円 (2)	0.031% (0.031)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)	0.120 (0.119) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	7	0.151	
期中の平均基準価額は4,901円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況 (2021年5月11日から2022年5月9日まで)

投資信託受益証券、投資証券

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千□	千アメリカ・ドル	千□	千アメリカ・ドル
ISHARES DIVERSIFIED COMMODITY SWAP UCITS ETF	11.6	72	418	2,999
	(-)	(-)	(-)	(-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2021年5月11日から2022年5月9日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

外国投資信託受益証券、投資証券

銘 柄	期首 (前期末)	当 期 末			
	□ 数	□ 数	外貨建金額	邦貨換算金額	比 率
(アメリカ)	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	%
ISHARES DIVERSIFIED COMMODITY SWAP UCITS ETF	831.44	425.04	3,498	457,589	99.4
合 計	831.44	425.04	3,498	457,589	-
	銘柄数 < 比率 >	1銘柄 < 99.6% >	1銘柄 < 99.4% >	-	99.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2022年5月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券、投資証券	457,589	99.4
コール・ローン等、その他	2,673	0.6
投資信託財産総額	460,263	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、458,903千円、99.7％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年5月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=130.78円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年5月9日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	460,263,791円
コール・ローン等	2,673,820
投資信託受益証券(評価額)	457,589,971
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	460,263,791
元 本	652,877,837
次 期 繰 越 損 益 金	△192,614,046
(D) 受 益 権 総 口 数	652,877,837口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	7,050円

(注1) 期首元本額 1,270,766,256円

追加設定元本額 47,100,739円

一部解約元本額 664,989,158円

(注2) 期末における元本の内訳

MHAMコモディティ・インデックスファンド(ファンドラップ) 652,877,837円

期末元本合計 652,877,837円

■損益の状況

当期 自2021年5月11日 至2022年5月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△382円
受 取 利 息	86
支 払 利 息	△468
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	276,420,679
売 買 益	276,816,835
売 買 損	△396,156
(C) そ の 他 費 用	△651,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	275,769,295
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△738,359,760
(F) 解 約 差 損 益 金	295,577,158
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△25,600,739
(H) 合 計(D+E+F+G)	△192,614,046
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△192,614,046

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。